

平成 25 年 9 月 24 日
住友生命保険相互会社

住友生命 ブランドパートナー 浅田真央選手出演

シーズン前に決意を語る。練習風景も独自収録。

DREAMS COME TRUE「何度でも」をCMソングとして起用した新TVCM完成！

平成25年9月25日(水)より全国にて放映開始！



『一度きりの冬』篇(30秒、15秒)

住友生命保険相互会社(代表取締役社長:佐藤義雄、本社:大阪府大阪市)は、ブランドパートナーであるフィギュアスケート、浅田真央選手を起用した新CM「一度きりの冬」篇を9月25日(水)より全国にて放送いたします。フィギュアスケートの主要大会および、当社提供番組等にて順次放映していく予定です。



■CM企画意図

当社ブランドパートナーである浅田真央選手。

昨シーズンの最後に、「2013-2014シーズンを集大成の年と思って悔いのないように……」と表明しました。

「MAO ASADA 応援プロジェクト」を推進してきた住友生命も、浅田選手の子どもの頃からの夢の実現に向け、集大成の年にふさわしい精一杯の声援を送っていきたいと考えています。

今回のテレビCMは、2013-2014シーズン第1作目の作品となります。

撮影にあたっては「今年は、オフシーズンも通常通り練習をしたい。」という浅田選手の想いを受けてスケート場を借りて自由に練習していただき、それを撮影するという方式をとりました。おかげで、真剣に練習に打ち込む浅田選手の迫力ある映像がたくさん撮影できました。また、撮影の合間には心境や「応援」に対する思いなどについてのインタビューも活かした企画になっています。

普段は目にすることができない映像を、浅田選手が練習中や試合の前などによく聴いているという、DREAMS COME TRUEの楽曲「何度でも」に乗せてお届けいたします。

「応援」を力にして、夢に向かって挑戦する浅田選手の決意を、視聴者の皆さまにも自分事のように感じとって頂けたらと考えております。

CM関連情報やキャンペーン情報を住友生命公式 Facebook ページでも公開中です。

URL: <http://www.facebook.com/sumitomolife>

■ 浅田真央選手からのメッセージ

住友生命ブランドパートナーの浅田真央です。私が出演する新しいCMができあがりました。今シーズンのはじまりにあたって、私にとっての「応援。」とファンの皆さんへの気持ちをお話しています。私にとって皆さんの応援は「自分の力になるもの」です。今シーズンは、とても重要なシーズンです。でも、いつも通り変わらず、一つでも二つでも三つでも、「自分がやりきった」と思える試合をして、みなさんにも良い演技をお見せしたいと思っていますので、応援をよろしくおねがいします。

■ CMストーリー

幻想的なスケートリンクの中央。何かを決意したような眼差しでこちらを見ている浅田真央選手。自身にとって「応援とは」。そして、自分を支えてくれる人々への想いを語ります。

くじけそうな時、力をくれるもの。

応援してくれる人がいるから、がんばれる。

みんなに最高の演技を見てもらいたいって思う。

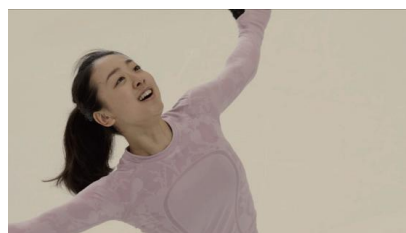
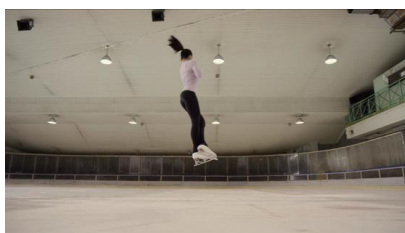
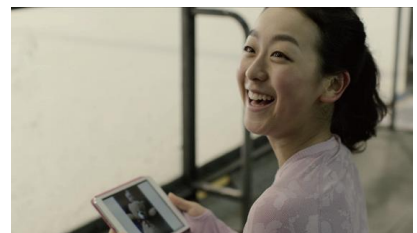
今までで、一番強い浅田真央を 見せたいです。

浅田選手の決意の言葉にあわせ、ひたむきな練習風景、リンクサイドで当プロジェクトに寄せられた応援メッセージを見て笑顔で振り返る姿等がインサートされます。

ステップ、スピン。そして、ジャンプ。

浅田真央と僕たちの一度きりの冬が来る。

自身の未来を信じ、これまで誰よりもひたむきに努力を重ねてきた浅田真央選手。「あなたの未来を強くする」というブランドメッセージを掲げる住友生命は、彼女の夢の実現に向け、当プロジェクトを通じて全力で浅田選手を応援していくことを宣言します。



■CM楽曲について

DREAMS COME TRUE / 何度でも

この曲を選んだのは、浅田真央選手が「試合前に聴いている。」とのインタビュー映像を拝見したことがきっかけでした。

「何度でも」というサビの部分は、浅田選手がこれまで歩んできたスケート人生や、未来を信じて挑戦し続けてきた姿と重なります。

浅田選手の集大成の年。これ以上にCM曲としてふさわしい曲はない。と確信し、DREAMS COME TRUE のお二人に早速ご相談し、CM 曲として使っていただくことができました。



DREAMS COME TRUE

吉田美和(ヴォーカル)

中村正人(アレンジャー/プログラマー/ベーシスト)

1989 年、シングル「あなたに会いたくて」、アルバム「DREAMS COME TRUE」でデビュー。

以降、「LOVE LOVE LOVE」「やさしいキスをして」「何度でも」「その先へ」など、数々のヒット曲を世に送り出し、これまでにオリジナルアルバム 16 枚、シングル 50 枚をリリース。

DREAMS COME TRUE が生み出す楽曲は世代を超えて愛される、日本の音楽シーンを代表するポップバンドである。

ライブにも定評があり、毎回チケットは即日完売。アルバムツアーとは別に、4 年に一度開催される「史上最強の移動遊園地 DREAMS COME TRUE WONDERLAND(ドリカムワンダーランド)」も有名である。このライブはファンからのリクエストをもとに選曲されるグレイテストヒッツライブ。毎回趣向を凝らした斬新な演出と圧倒的なライブパフォーマンスが話題を呼び、日本において最も人気の高いコンサートの代表格となっている。

昨年から今年春にかけて、その 4 年に一度のワンダーランドを“表”とするならば、その“裏”としてマニアックな曲ばかりを披露する裏ベストライブ「裏ドリワンダーランド 2012/2013」を開催、全国 30 万人を動員した。今夏、最新シングル「さあ鐘を鳴らせ」が人気ドラマの主題歌として起用されるなど注目を集めている。

(2013 年 9 月 5 日現在)

■DREAMS COME TRUE からのメッセージ

2005年に生まれた『何度でも』

今では、DREAMS COME TRUEの楽曲というよりも、みなさんひとりひとりの心に住みついている「うた」と言って頂けるようになりました。

その「うた」が、浅田真央さんのところにも響いていると知り、今回のコラボレーションは、僕らにとって大きな喜びとなりました。

まさに、真央さんの生き方そのものが、『何度でも』の伝えるメッセージ。

真央さんの強く凛々しい笑顔がさらに輝くよう、そしてこの「うた」が、真央さんの未来をより強くするよう、僕たちは全力で応援します。

DREAMS COME TRUE

■浅田真央選手 撮影エピソード

◆7月上旬 とあるスケートリンクにて

シーズン直前、フィギュアスケートの選手は非常に多忙な日々を過ごしています。

浅田選手には、ハードスケジュールの合間をぬって、今回の撮影にご協力いただきました。

撮影当日は、当社がご用意したスケートリンクに練習の場を移し、佐藤コーチや姉の浅田舞さんにもご協力頂くという、大がかりな撮影となりました。

普段とは異なる場所での練習でしたが、さすがはトップスケーターです。次々と練習メニューをこなし、真剣な表情で佐藤コーチと話合っている浅田選手の姿を見ていると、今季にこめられた並々ならぬ決意と、順調な仕上がりを垣間見ることができる、非常に貴重な時間となりました。



◆インタビュー「浅田舞」

本作品の中心は、何といても浅田選手の今期にかけるナマの声です。

緊張感のある練習後に、浅田選手が最もリラックスして撮影にのぞんでいただけるようにという思いでインタビューにはお姉さんの浅田舞さんにご協力頂きました。

自身もスポーツキャスターとして多方面でご活躍されており、浅田選手の最大の理解者である舞さん。浅田選手の素直な言葉や素敵な笑顔がたくさん引き出してくれました。

残念ながらCMではその様子をお見せすることはできませんが、9月25日にリニューアル予定の「MAO ASADA 応援プロジェクトサイト」で、順次スペシャル映像として公開していく予定です。

舞さんには、スケーターとしての視点でもご協力頂き、インタビュー以外にも、カメラワークや撮影進行についての確なアドバイスを頂き、非常に恵まれた環境で撮影をすることができました。



◆ついていけない……

わかっていたとはいえ、浅田選手のスケートのスピードは私たちの想像をはるかに越えていました。

スタッフがどんな手を使っても、浅田選手のスピードにカメラがついていけない……。

急遽、現役アイスホッケー選手でもあるスケートリンクのスタッフにSOS。なんとか予定の撮影をこなすことができました。トップスケーターの「領域」を少しだけ体験できた貴重なハプニングでした。



◆トップスケーターの集中力。そして真央スマイル。

今回の新TVCMは、浅田選手の練習風景からカメラを入れさせて頂いています。

ひとたび浅田選手がリンクに降り立つと神々しい雰囲気につつまれます。氷の感触を確かめながら徐々にギアが上がっていききました。

真綿を落としても音が聞こえそうなくらいの緊張感の中で、佐藤コーチの指導のもと練習は進みました。多くのカメラが設置される環境下でも決して浅田選手の集中力が途切れることはありませんでした。

しかし、一旦リンクをおりると真央スマイルが全開。休憩時間にスタッフとボクシングの練習を楽しんだり、慣れないスケートリンクでの撮影に戸惑っているスタッフを気遣ったり。

気がつけば、撮影現場は笑顔であふれ、スタッフの方が浅田選手から力をもらうことができた。そんなことを実感できた撮影となりました。

